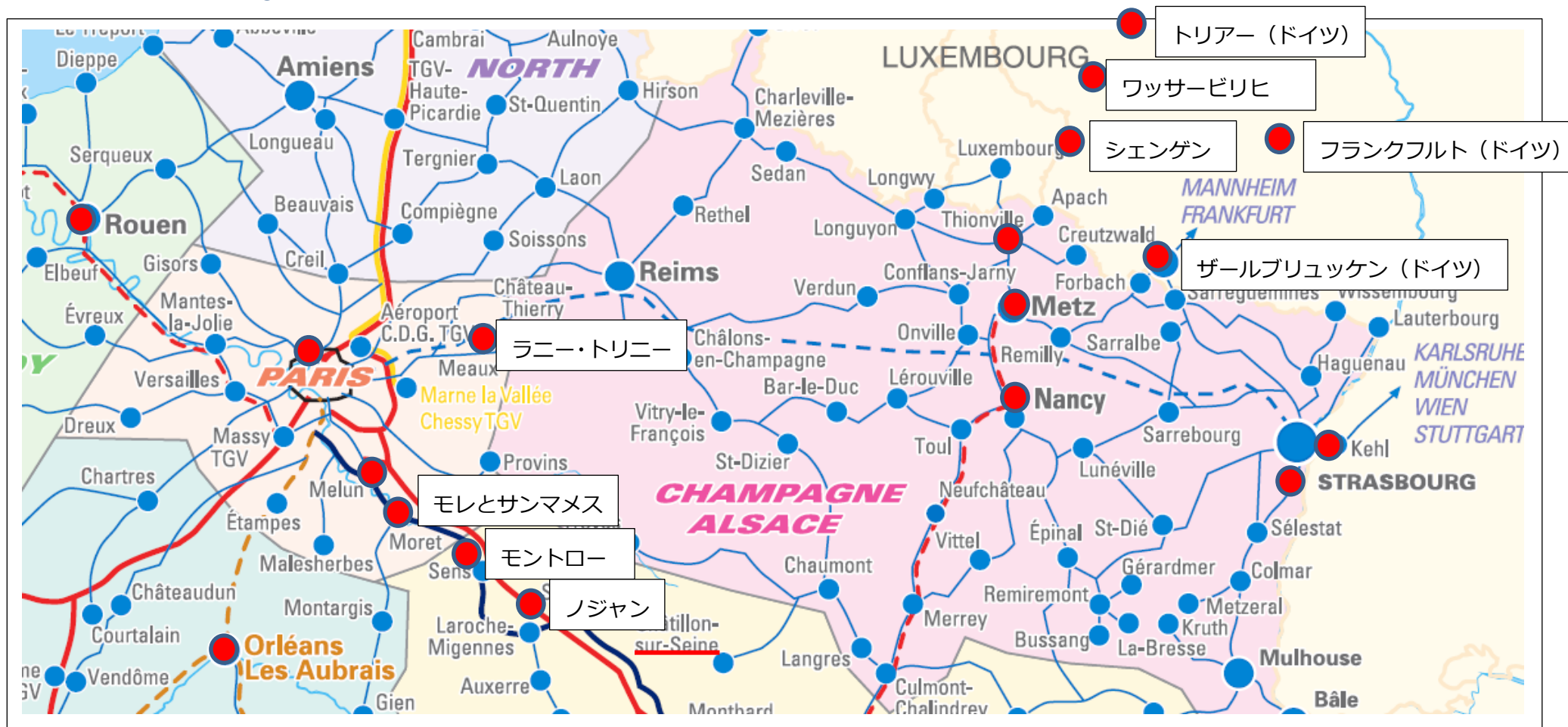
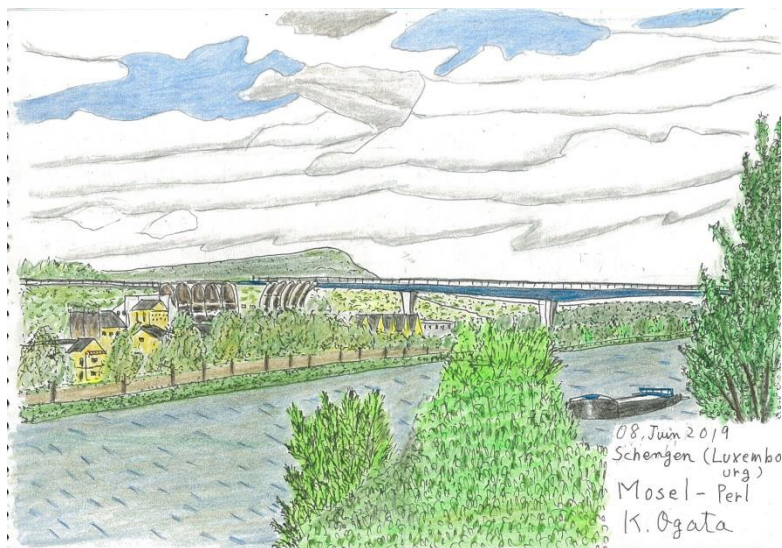


下記地図中の ● 印がスケッチした場所



(注) 次ページ以下のスケッチ集の各No.毎の最後に交通アクセスをカッコ内に表示しています。「SNCF」は Societe National de Chemin de Fer = フランス国鉄
 今回も「フランスレイルパス」を利用しましたので、SNCF が運行する列車は行き先がドイツの都市でも利用可能でした。
 なお シェンゲン協定により EU 加盟国間の国境での検査はなく、国境を越える橋にはバス・トラムが走り歩行者・自転車も通っています。

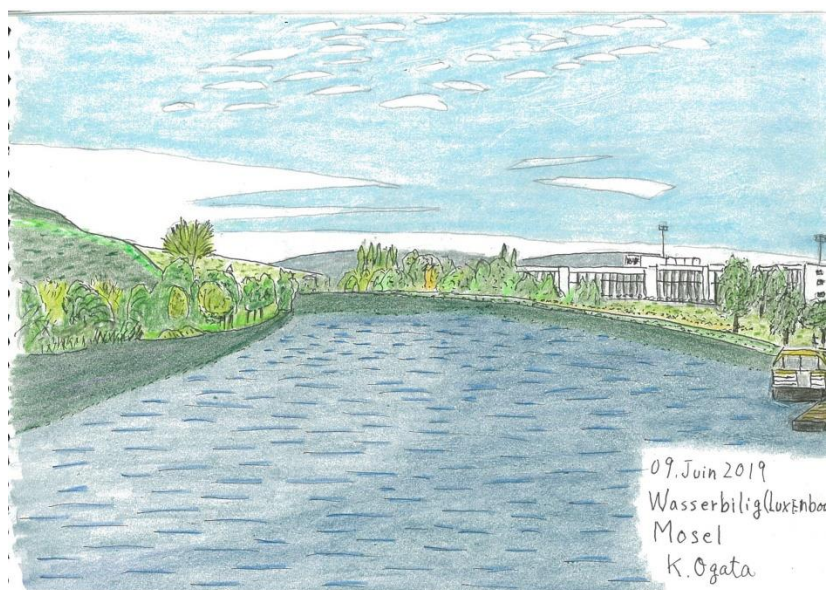
① 6.8(土) シェンゲン (ルクセンブルグ) モーゼル川と川船(路線バス×2)



② 6.8(土) トリアー (ドイツ) モーゼル川-観光船 (ドイツ国鉄)



③ 6.9 (日) ワッサービリヒ (ルクセンブルグ) モーゼル川と川船 (国鉄)



④ 6.9 (日) ワッサービリヒ (ルクセンブルグ) モーゼル川とフェリー (国鉄)



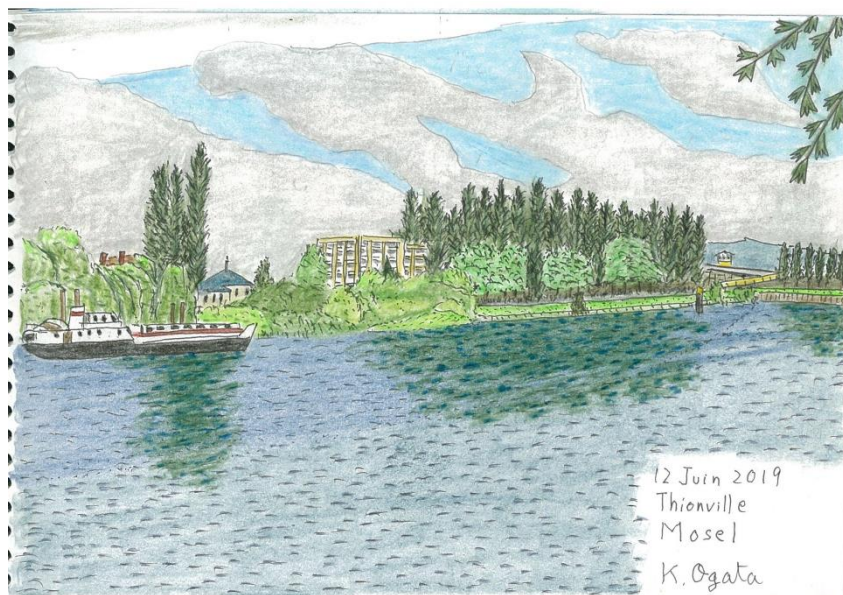
⑤ 6.10(月)ザールブリュッケン (ドイツ) ザール川と川船 (SNCF バス)



⑥ 6.11(火) メッツ ブランド・オー 大聖堂とモーゼル川 (レンタサイクル)



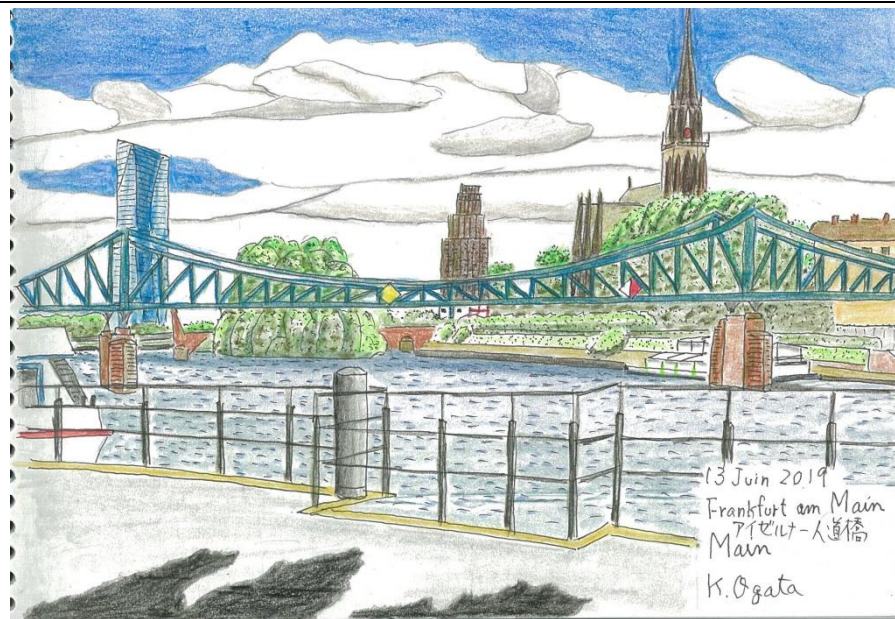
⑦ 6.12(水)ティオンビル市街 モーゼル川 (SNCF)



⑧ 6.12(水)ナンシー市街 ムルト川 (SNCF+トラム)



⑨ 6.13(木) フランクフルト (ドイツ) マイン川岸と教会 (SNCF+トラム)



⑩ 6.14(金) ストラスブール (ドイツ-ケール) ライン川と人道橋 (トラム)



⑪ 6.14(金) ストラスブール (両岸公園から対岸) ライン川 (トラム)



⑫ 6.15(土) ラニー・トリニー市街 マルヌ川 (SNCF)



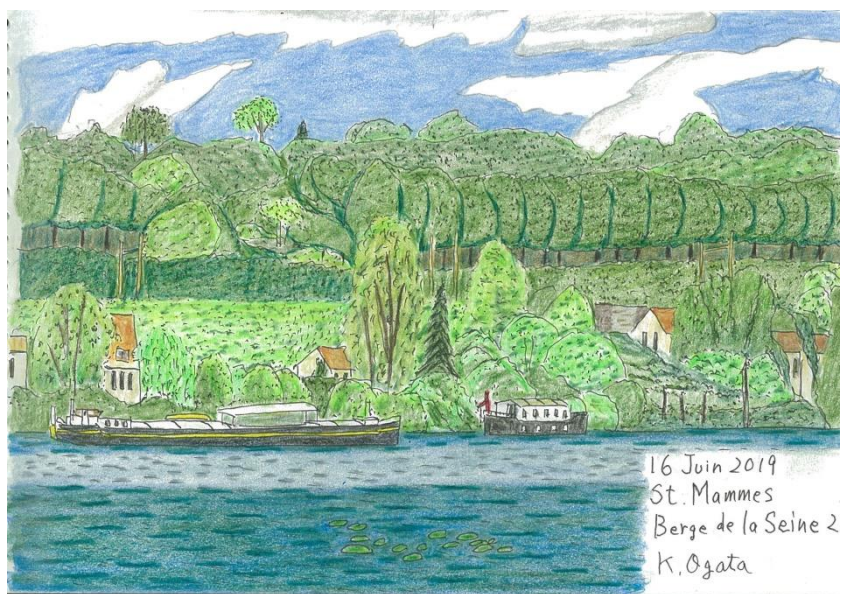
⑬ 6.15(土) モレ・シュル・ロワン ロワン運河と川船(レンタサイクル)



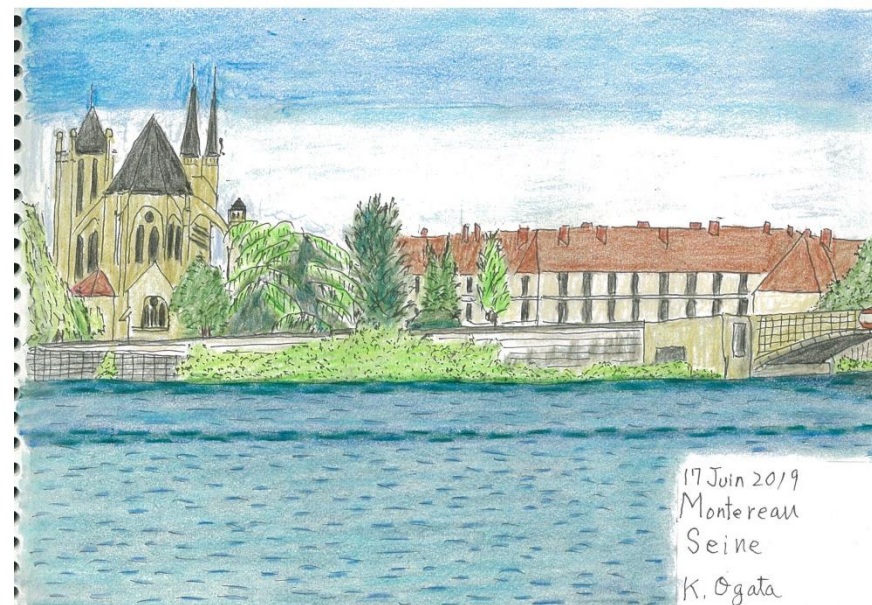
⑭ 6.16(日)サンマメス港 セーヌ川と川船(レンタサイクル)



⑮ 6.16(日) サンマメス公園から対岸 セーヌ川(レンタサイクル)



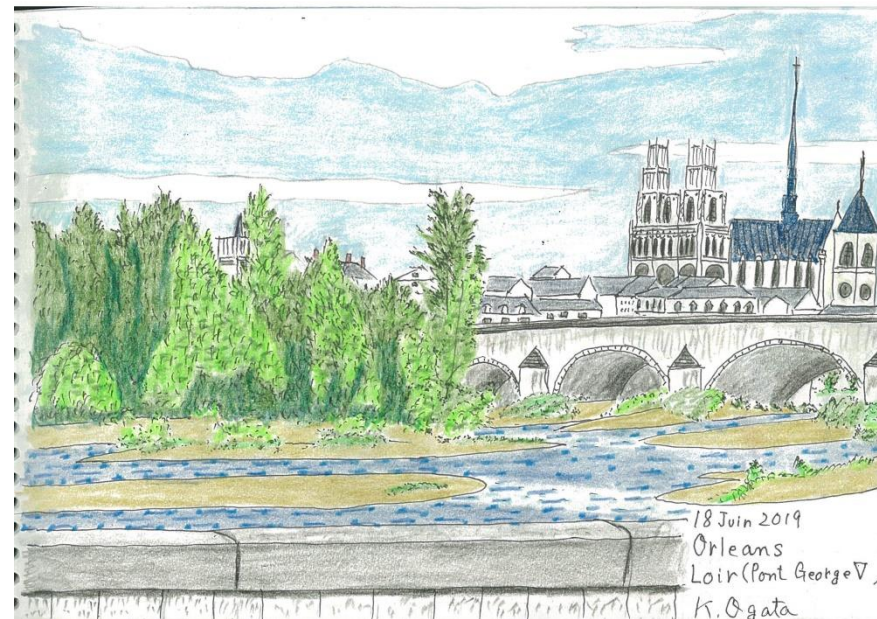
⑯ 6.17(月)モンロー市街 セーヌ川と教会 (SNCF)



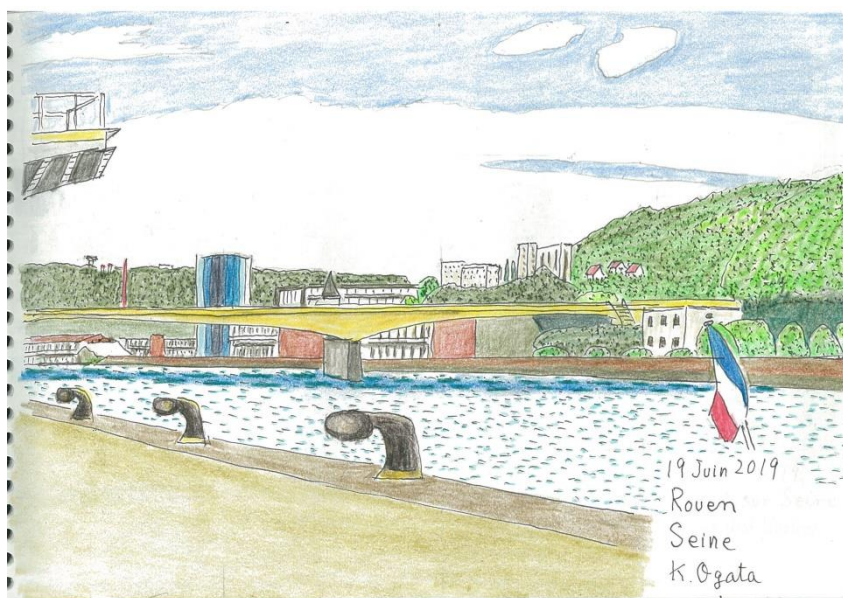
⑰ 6.17(月) ムラン セーヌ川岸の並木 (SNCF)



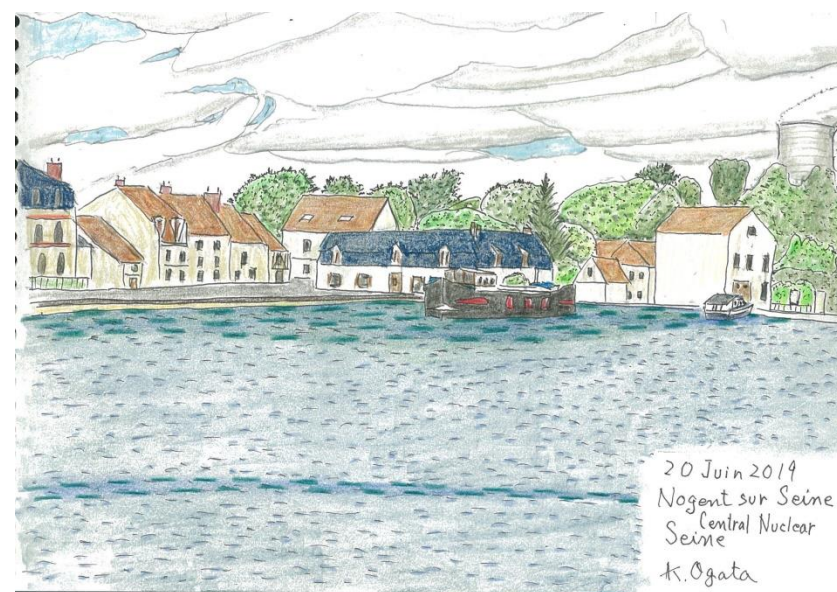
⑱ 6.18(火) オルレアン市街 ロワール川と大聖堂 (SNCF+トラム)



⑲ 6.19(水) ルーアン港と市街 セーヌ川 (SNCF+トラム)



⑳ 6.20(木) ノジャン市街 セーヌ川運河とノジャン原発 (SNCF)



㊦ 6.21(金) パリ サンマルタン運河と対岸の並木 (メトロ5号線)



6.11(火)【写真】 SNCF メッツ駅—ドイツ領だった時代に作られた建物

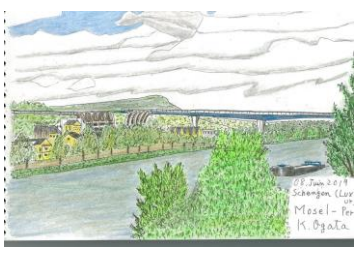
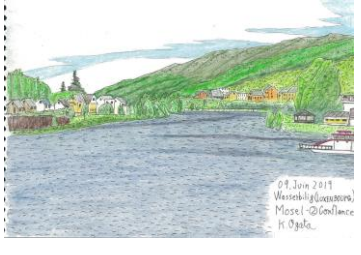


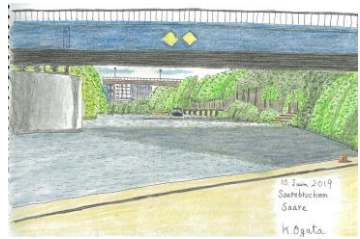
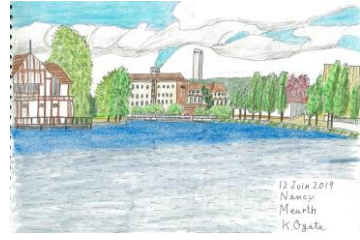
6.17(月)【写真】 モレからモンローへ向かう SNCF 近郊電車の内部



6.20(木)【写真】 パリに最も近いノジャン原発 (SNCF 駅の跨線橋から)

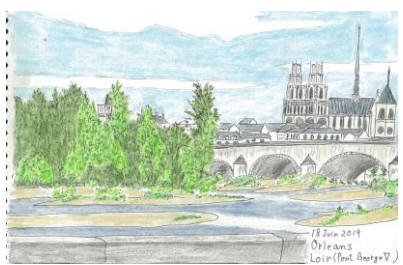
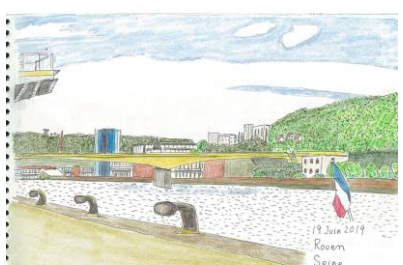


No.日付天気	スケッチ画	場所/記録
① 6/8 (土) 曇り		場所: Schengen: シェンゲン協定を記念する EU 記念館から少し下流のドイツ側に渡るモーゼル川の橋から 記録: シェンゲンはルクセンブルグの小さな町で、すぐ前のモーゼル川がルクセンブルグとドイツ・フランスの国境。鉄道駅がないため路線バスを 1 時間乗り継いでいくが、中央駅のインフォメーションでバス乗継用の時間とバス停を記したメモをくれた。乗り継ぎバス停にいたマダムに「私はシェンゲンに行く」というと自分もそうだと言うので、一緒にバス停で下車して歩くと 3 分程で EU 記念館に着いた。観光案内所で記念に帽子を買った。
② 6/8 (土) 曇り		場所: Trier=トリアー ドイツ国鉄トリアー中央駅から徒歩 20 分=モーゼル川の橋の近くの観光船乗り場前 記録: トリアーはローマ時代の紀元前からのヨーロッパ最古の町の一つで世界遺産の遺跡があり、カールマルクスの生誕地。午前中のスケッチ後、橋を渡った先のドイツ国鉄駅「Perl」からモーゼル川沿いの良い景色を走り 50 分。トリアー中央駅からの道は少し分かり難く、帰りは安全を見て早めに切り上げた。スケッチしていると覗きに来る人もいる。早めに着き駅前の「マック」で時間調整とトイレ休憩。ドイツ語圏は車内放送・注文などがわかり難い。
③ 6/9 (日) 晴れ		場所: Wasserbillig=ワッサービリヒ ワッサービリヒ駅近くのモーゼル川遊歩道から一上流側 記録: 今日は日曜日なので鉄道・バスの本数が少なく、移動しないでスケッチして過ごす。ワッサービリヒ駅で駅員にモーゼル川への道を聞くと、ホーム乗換えの地下道の先がモーゼル川遊歩道だと教えてくれる。遊歩道はベンチがありジョギングや自転車の人が沢山通る。スケッチしていると自転車の女性が「駅はどこですか?」とドイツ語で聞いてくる。快晴で暑く上着を脱いでシャツになり、大事なパスポート入れはシャツの下にしまう場所を変える。
④ 6/9 (日) 晴れ		場所: 同上 一下流側 午前中の場所から少し下流側に移動しモーゼル川の左カーブが見える場所へ 記録: 下流側はルクセンブルグ側とドイツ側を結ぶフェリーの発着場がある。橋はないから人のほか車や自転車がどんどん乗り込んで頻繁に行き来している。本流は 2,000 トン位ある大型の船が荷を積んで水が舷側すれすれの形で航行していき、観光船と行違う。ワッサービリヒの町はドイツに最も近いルクセンブルグの町。スケッチを終えてルクセンブルグ中央駅に戻り、旧市街の方にあるサント・クロワ教会 18:00 の日曜日ミサに出る。黒人も 20%位いる。

No.日付	スケッチ画	場所／記録
⑤ 6/10 (月) 曇り・祝日 聖霊降臨の日		場所：Sarrebuck=ザールブリュッケン（ドイツ） 駅から 5 分のザール川橋下の遊歩道から 記録：ルクセンブルグのホテルをチェックアウトし駅前から SNCF バスで 1 時間 20 分 ザールブリュッケン駅前に着く。バスが町に近づく と急に工業地帯の景色になる。途中、バスから丘を越えて「フランスカットノン原発」の 4 本の冷却塔と白煙が見える。ザールブリュッケン駅構内のコインロッカーは説明がドイツ語と英語で分からず、断念し荷物を担いで駅前を歩くと目指す場所はすぐだった。スケッチ後、駅からフランス・メッツ行きの列車に乗る。
⑥ 6/11 (火) 曇り		場所：Metz—Plan d'eau 公園（フランス） モーゼル川沿いの公園から旧市街と大聖堂が見えるビュースポット 記録：朝レンタサイクルを借り（1 日€3、保証金€200）道路標識を見て、人に道を聞きながらやっと目的地に着く。この大聖堂はアミアンやシャルトルと違って、外壁の石がピンク茶色系。高台にあるので遠くから良く見える。スケッチ後、自転車で大聖堂に行ったが入口のタンパン彫刻は少ない。大聖堂のあと次のスケッチ場所に向かうが、道に迷って方向が分からなくなりメッツ駅に戻り自転車を返す。午後は雨になりスケッチ予定はキャンセル。
⑦ 6/12 (水) 晴れ		場所：Thionville: 駅近くのモーゼル川遊歩道から 記録：朝は小雨だったので出発を遅らせ、ティオンビル駅に着くと雨は上がっていたが寒い。スケッチを始めると、木の枝から雨のしずくがスケッチブックに落ちる。描いている内に雲が動き、青空が少しのぞくようになる。出発を遅らせた分、午後のナンシーに行く列車 12:00 発までの時間がなくなり、進行状況は不十分だが切り上げて駅に向かう。ここがフランス国内では最北のスケッチになった。
⑧ 6/12 (水) 晴れ		場所：Nancy-Gerard Barois: La Meuthe (canal) ナンシー市内-ジェラルール・バロワ ムルト川岸（運河） 記録：午前中の雨が上がり、トラム駅-ジェラルール・バロワを降りてすぐの川岸遊歩道で上流側を見るアングル。トラム線路は市内で少し曲がり橋を 3 本渡ってこの駅に着く。帰り道もトラムに乗った方がナンシー駅に戻るには安全だ。遊歩道は人通りが少なく静かな場所。まだ鉛筆の段階で描いていると若い女性が「ムッシュー、とても綺麗ね」と声をかけてくれる。上流-正面の建物は学校か？住宅マンションではなさそうだ。

⑨ 6/13 (木) 晴れ		場所：Frankfurt: Main-kai (Main) フランクフルト市内 アイゼルナー橋（人道橋）に近いマインカイの川岸公園 記録：メッツのホテルをチェックアウト後-TGV に乗り、11 時前にフランクフルト中央駅に着き窓口で荷物を預け、トラムでスケッチ場所に移動。フランクフルト中央駅は大変な混雑で切符や荷物預けに時間がかかる。スケッチ予定は2 か所だが1 か所にしないと帰りのTGV16:58 発に間に合わない。マインカイの川岸公園も人が多い。治安のよい町ではないので、周りに気を付けながらスケッチを続け、時間前に切り上げて駅に着き、構内で腹の足しをする。
⑩ 6/14 (金) 曇り/小雨		場所：Kehl: Jardin des Deux-Rives (Rhin) ケール（ドイツ）両岸公園—ライン川を挟んだ公園（ドイツ側） 記録：ストラスブール中央駅からトラム D 線の終点下車。公園のドイツ側川岸で上流にかかるフランス側に渡る人道橋を見るアングル。前の川には大きな観光船・ホテルが停泊している。描き始めると小雨になり木の下に異動して続ける。上空の空は暗く天気回復は期待できないが、風がないので寒くはない。ある程度の段階で切り上げ、人道橋を渡ってフランス側に移動する。
⑪ 6/14 (金) 曇り		場所：Strasbourg: Jardin des Deux-Rives (Rhin) ストラスブール：ライン川を挟んだ両岸公園（フランス側） 記録：午前中の場所から対岸＝フランス側へ移動。ここには第2次大戦中のトーチカ跡が残っていて、対岸のドイツーケールの町・教会や下流に国境をまたぐ交通量の多い橋が見える。雨は上がり少し青空が見える。公園の設備はドイツ側より良く広い。唯一仏の国境がここまで近いと互いに丸見えと感じる。スケッチを切り上げ、トラム D 線の「Port du Rhin」駅から市内へ戻り、大聖堂を見学してホテルに戻る。
⑫ 6/15 (土) 晴れ		場所：Lagny-Thorigny ラニー・トリニー パリ郊外-東部 マルヌ川岸（パリ市内直前でセーヌ川に合流する） 記録：昨日のストラスブールで今回の旅行前半のアルザス・ロレーヌ：エリアは終了し、今日から後半のセーヌ川を中心とするエリアになる。朝ストラスブールからTGVで着いたパリ東駅でそのままSNCF近郊電車に乗継ぎ、20分でラニー・トリニー駅下車。人に道を聞くまでもなくマルヌ川岸は駅から徒歩2分だった。橋を渡った先の遊歩道から対岸の市街を見るアングルでスケッチ。パリから20分でこの環境は素晴らしい。

⑬ 6/15 (土) 晴れ	 15 Juin 2019 Moret-sur-Loing Canal et Ecluse K. Ogata	場所 : Moret-sur-Loing: Canal de Loing モレ・シュル・ロワン : パリ郊外-南東部 ロワン川運河 記録 : 午前のラニー・トリニーからパリ・リヨン駅で SNCF 近郊電車に乗換え、Moret-Veneux-Les-Sablons 駅で下車し予約してあったレンタサイクル店で自転車を借り*、宿泊ホテルへのチェックインを済ませてからロワン川沿いを自転車で 15 分走ると、道路脇に運河の水門があった。水門から上流はのどかな運河で川船が泊っている。土曜日なので道は車が多いが、この場所は静かにスケッチできる。*パスポートは預けずに、コピーを取って貰った。
⑭ 6/16 (日) 晴れ	 16 Juin 2019 St. Mammès Berge de la Seine K. Ogata	場所 : Saint Mammès : サンマメス : パリ郊外-南東部 ロワン川がセーヌ川に合流する港 記録 : 昨日と同じレンタサイクル店で自転車を今日は 6 時間借りた。(16 ユーロ) 今日の日曜日なので、電車での移動はせず、120 年前に印象派のシスレーが愛したこの場所で一日スケッチとした。港は日曜市が立って賑わっている。市の近くから下流のセーヌ川の流れが臨める場所で描き始める。今日は暑いので上着なしでちょうどいい。市の店主の子供が一人、何回もスケッチを覗きにきて「Bon courage! =がんばって」と言ってくれる。港の船も旗を立てて日曜日らしさがここ一帯に感じられる。
⑮ 6/16 (日) 晴れ	 16 Juin 2019 St. Mammès Berge de la Seine K. Ogata	場所 : Saint Mammès : サンマメス : パリ郊外-南東部 港から橋の先にある上流側の公園内から 記録 : 午前の場所から自転車で、橋の先にある上流側の公園内から見通しが開け対岸が良く見える場所に移動した。対岸の丘には SNCF 近郊電車の線路があり時折電車や貨車が通る。セーヌ川には川船とハウスボートが停泊している昼食のパンを川にいる白い水鳥のつがいに投げて食べさせる。この場所は午前中の港よりも静かで子供が周りで遊んでいる。レンタサイクルは 15:30 迄なので、時間に合わせて切り上げ町に戻る。
⑯ 6/17 (月) 晴れ	 17 Juin 2019 Montereau Seine K. Ogata	場所 : Montereau : モントロー パリ郊外-南東部 ヨンヌ川がセーヌ川に合流する場所 記録 : SNCF 近郊電車 R 線で 10 分のモントロー駅下車。道を聞きながらスケッチ場所に 20 分歩くと教会が見え橋を渡った先の遊歩道からスケッチ。対岸に教会と町・橋が見えるアングルでヨンヌ川の合流点は画面の左にある。駅からこの場所への道は直線ではなく少し難しい。間違えやすい感じがするので 12 時前に切上げ、駅に向かうと案の定行きと違う道になったが、12:32 発の電車で午後のスケッチ場所=ムランへ向かう。

⑪ 6/17 (月) 晴れ		場所：Melun：ムラン パリ郊外-南東部 セーヌ川沿いの町 セーヌ・マルヌ県の県庁所在地 記録：このセーヌ川は大きな中洲があり川幅が広い。その中洲を渡ると下流側は右に湾曲した川の両岸に高い並木がある。中洲側は揃ったポプラ並木で美しい遠近法の典型。草地からのアングルだが、日当たりが強くシャツの袖をまくって描く。15:30 に切り上げ 16:12 発の電車でモレに戻る。ホテルの部屋で洗濯し、一休みしてからシャワーを浴びて寝る。
⑫ 6/18 (火) 晴れ		場所：Orleans：オルレアン パリから電車で南へ 1 時間 40 分 ロワール川沿いの町：ジャンヌダルクの生誕地 記録：オルレアン駅からトラム A 線で 2 駅目「Tourelles-Dauphine」下車し川沿いの遊歩道へ降り、ジョルジュ・サンク橋と大聖堂を見るアングルでスケッチ。描いていると覗いたり「見せて！」という人がいる。木陰で描いていると、草刈り機が来たが私がいるので手前で戻っていく。ロワール川はセーヌ川などと違って川に土の中洲が多数あり、日本の川に似ているがそのため水運には適さない。
⑬ 6/19 (水) 晴れ		場所：Rouen：ルーアン パリから電車で西へ 1 時間 10 分 セーヌ川下流の町：ジャンヌダルクの処刑地 記録：パリ・サンラザール駅からルーアンに向かう途中で青空が出てきた。ルーアン駅からメトロで 2 駅目「Teatre des Arts」下車し川沿いの遊歩道へ降り、日陰のベンチから下流の港湾設備方向をスケッチし始めると、空がますます鮮やかな青空になってきた。12 時に切り上げ、ル・アーブルに向かうが、ル・アーブル駅からバスで予定の場所に着くと雨になり強くなったのでスケッチは断念し、パリに列車で戻ると途中駅で 30 分停車し大幅に遅れる。
⑭ 6/20 (木) 雨→曇り		場所：Nogent sur Seine：ノジャン-シュル-セーヌ パリから電車で東へ 1 時間 セーヌ川上流のノジャン原発有 記録：この町で生まれた女性彫刻家カミーユ・クローデル（注）を記念する美術館が 2017 年にオープンし、スケッチ前に美術館に行くとき雨が降り始める。（注）ロダンの弟子兼愛人、関東大震災時の駐日フランス大使＝ポール・クローデルの姉 彼女の彫刻作品は生々しい印象が強い。美術館を出ると雨が上がり、川沿いの道からセーヌ川と市街をスケッチ。画面の右端にノジャン原発が見える。この町が航行可能なセーヌ川の最上流部。

②① 6/21 (金) 帰国日		場所：Canal Saint Martin：サンマルタン運河 パリ市内- この運河はバスティーユ付近でセーヌ川に合流する。 記録：ホテルをチェックアウトし荷物を飛行機の時間まで預けて、メトロ 5 号線 Jaures 駅下車北側に 20 分歩く。運河の両岸に並木と住宅がある好環境の遊歩道でスケッチ。対岸には広いドッグランがあり飼い主と犬が沢山いる。スケッチ後、メトロを乗り継いで「ロダン美術館」に行く。ロダンが全作品を国家に寄付してできた美術館で、入口は 4〜5 人並んでいるが長蛇の行列にはなっていない。展示室の最後の方に「カミーユ・クロードル」の部屋もある。
【写真】 6.11(火)		場所：SNCF Gare:Metz-Ville メッツ駅-正面 記録：この駅はドイツ領だった時代に作られた規模の大きい建物。正面側は旧市街や大聖堂に通じ、裏側はセーヌ川公園やポンピドー・センターに通じる。旧市街の道は斜めの道が多く、ホテルから近道もできるが慣れないので何回も道に迷った。駅の構内にあるパン屋・コンビニは日曜・祝日でも営業していたので、よく利用した。メッツの町はモーゼル川が市内を流れ、ゴミも少ないのできれいだった。
【写真】 6.17(月)		場所：SNCF Transilien モレからモントロローへ向かう近郊電車の車内 記録：フランスの電車は内装がカラフルで明るい色づかいのセンスが、事務的な印象の日本の電車内とは全く違う。2 階式の車両も多く、電車を利用する人が多いのでガラガラということとはなかった。つり革はなく、棒に捕まる仕組み。折りたたみ式の席や自転車を社内に持ち込む人のためのコーナーもある。次の停車駅の表示も見やすいが、フランス語だけでシンプル。駅のホームには次に出発する列車のディスプレイがあり、利用者は皆それを見ている。
【写真】 6.20(木)		場所：SNCF Nojant-sur-Seine; passerelle ノジャン-シュル・セーヌ駅の跨線橋からノジャン原発の冷却塔 2 本 記録：ノジャン原発はパリ市内から最も近い場所にある原発。パリから急行電車で 1 時間だから、距離は 70〜80 ㌾。フランスの原発は川沿いに立地するものが多く、ノジャン原発はセーヌ川沿いの町の近くにある。この町には 2017 年にオープンした女性彫刻家「カミーユ・クロードル」美術館があり、駅で道を聞いた人が美術館員で車に乗せてくれた。今回は美術館の後、雨が上がりセーヌ川沿いでスケッチした。